

事務事業名	木次こども園建設事業		所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	総務政策グループ	課長名 石飛和宏
	施策名	〈25〉子育て支援の充実		担当者名	石田誠	電話番号 0854-40-1044 (内線) 2252
	目的・対象	A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳)	意図	A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。		
	基本事業	〈072〉子育てと仕事の両立支援		予算科目	会計 0:1:15:0:5 款 大事業 大事業 目 中事業 中事業	木次こども園建設事業 木次こども園建設事業
目的・対象	保護者		意図	子育てと仕事を両立できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
木次こども園児とその保護者	園児が快適で良質な環境で保育・教育を受ける。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H28 年度~ R3 年度 )	木次こども園の整備を行う。 ・H28・・・基本計画、補償調査 ・H29・・・補償調査 ・H30・・・用地・補償契約、基本設計 ・R元・・・用地・補償契約、実施設計、造成 ・R2・・・建設工事、備品調達 ・R3・・・旧施設解体、園庭・駐車場整備
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
旧園舎解体工事 園庭及び駐車場整備工事	認定こども園化移行当初から施設が分断状態にあり、一体化施設の建設・整備に対する要望を受け、その改善に向けた検討を行ってきた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 子育て支援に関する行政サービスが整っていると感じる市民の割合	%	76.4	83.3	77.4	78.0
イ 定員	人	130	130	150	150
ウ 入所児童数	人	118	109	123	123
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移					
	財源内訳	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
需用費 704千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
役務費 718千円		県支出金	千円				
委託料 47千円		地方債	千円	144,600	675,000	96,500	
工事請負費 95,780千円		その他	千円		11,000		
備品購入費 275千円		一般財源	千円	101	693	1,213	
補償補填及び賠償金 189千円		事業費計	千円	144,701	686,693	97,713	0
財源:過疎							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新園舎完成により、定員拡大、入所児童数の増加が図られ、保育サービスの拡大に貢献した。
② 事業実施するうえでの課題	将来コストの縮減と平準化を図るため、長寿命化対策を行っていく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	定期的に点検を行い、劣化状況や性能の把握に努め、予防保全的な対応を図っていく。